

- 新たに導入する自動操舵トラクターの導入効果を最大化するため、枕地を確保することで旋回効率が向上。
- 栽培管理システムから得られたデータを申請者間で共有・分析することにより、翌年以降の施肥管理を改善し収益性が向上。

## 経営上の課題

- ・農業者の減少により1経営体当たりの作付面積が拡大しており、作業負担が増加。
- ・ほ場条件の違いによる生育差があるものの、肥培管理が生産者の経験に依存している状況。

スマート農業技術を活用した作業の効率化と、データ活用に基づく栽培管理への転換を図る必要。

### 申請者：

株式会社TAKEUCHI farm、株式会社Kふあーむ  
(北海道深川市)

### 対象品目：

大豆

### スマート農業技術：

自動操舵トラクタ  
栽培管理システムによる生育予測

### 新たな生産方式：

枕地の導入による自動操舵トラクタの作業効率向上  
栽培管理システムから得られたデータの共有・分析

### 活用予定の支援措置：

補助事業の優遇措置

## 計画の概要

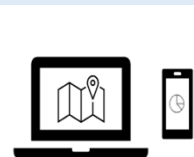
### スマート農業技術

#### 自動操舵トラクタ



自動操舵トラクタによる耕起・  
整地、施肥作業等の効率化

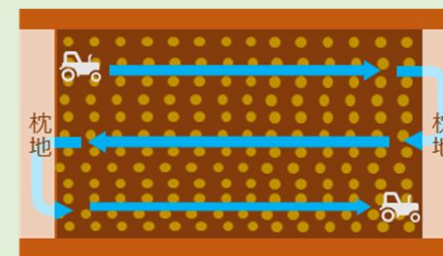
#### 栽培管理システム



栽培管理システム  
による生育状況等  
のデータの活用

### 新たな生産方式

#### 枕地の導入



枕地を確保することにより、  
旋回効率が向上することで、  
労働投入量が減少

#### データの共有・分析

申請者間で取得したデータを共  
有・分析し、次年度以降の可変  
施肥に活用